

インド投資がわかる本



eastspring 
investments

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

なぜ、今インドが注目されているの？

？

インド投資について最近よく聞くけど、どうしてなんだろう？

インドは世界で最も急成長している国の一つで、**2028年には世界第3位の経済大国になると**予想されているんだ。

名目GDP(国内総生産)ランキング上位5ヵ国 (単位:兆米ドル)

	2024年	2025年 (予想)	2028年 (予想)
1 米国	29.2	30.5	34.3
2 中国	18.7	19.2	23.1
3 ドイツ	4.7	4.7	5.3
4 日本	4.0	4.2	4.7
5 インド	3.9	4.2	5.6

出所:IMF世界経済見通しデータベース(2025年4月)のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

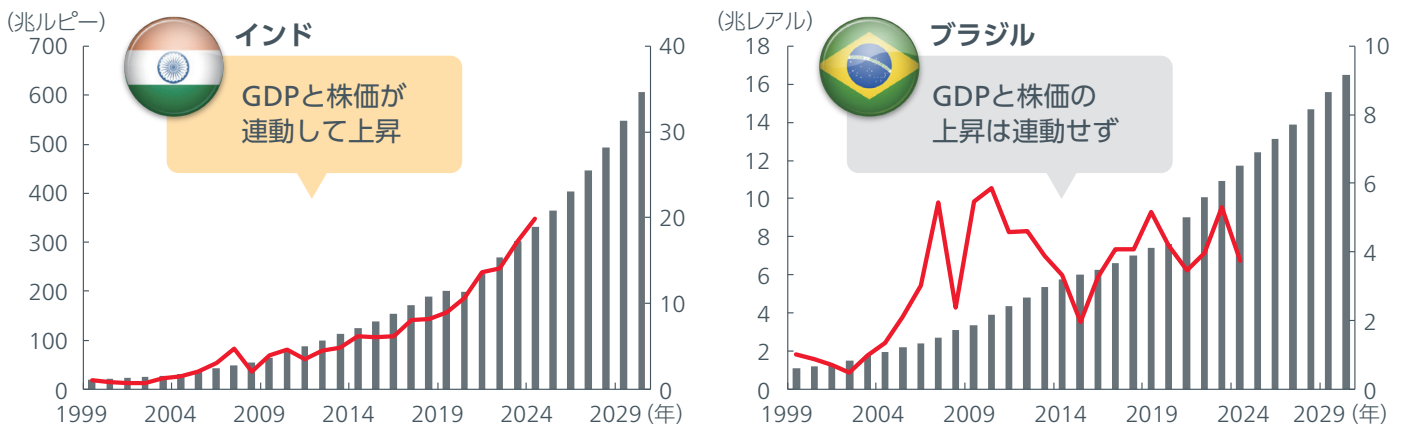
？

すごい勢いで成長しているね！
でも、GDPの成長は株価と関係あるのかな？

必ず相関性があるわけではないけど、インドはGDPの成長と株価が連動する傾向にあるんだ。2000年以降で、インド株式は**約20倍も上昇**しているよ。

インドとブラジルの名目GDPおよび株価の推移 (1999年～2030年*、年次)

— 株価(右軸) ■ 名目GDP(左軸) ※株価は1999年末を1として指数化



出所:IMF世界経済見通しデータベース(2025年4月)、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

* 株価は2024年まで。名目GDPは2025年以降は予測値、現地通貨ベース。インドの株価はMSCI インド株価指数、ブラジルの株価はMSCI ブラジル株価指数、現地通貨ベース、トータル・リターン(グロス)。

GDPの成長に伴って株価も上昇しているね！
今後もGDPの成長が予想されているから、
株価の上昇も期待できるね。



インドと言えばカレーやガンジス川…
成長に伴ってインドも変化しているのかな？

インドはいまや**IT大国**。他にもさまざまな技術力で
世界の中で存在感を高めていて、**今までのイメージ
とは大きく違っている**と思うよ。



テクノロジー技術で世界で存在感を高めるインド



豊富なIT人材でスタート アップ大国として台頭

インドは、2024年に米国を抜いて**ITエンジニア数世界第1位**になったと報道されています。豊富なIT人材を背景に、テクノロジーを活用した多くのスタートアップ企業が生まれています。こうしたスタートアップ企業から多くのユニコーン企業*が誕生し、**インドはユニコーン企業数で米国、中国に次ぐ世界第3位(2025年7月)**の地位を確立しています。

* 設立10年以内で、企業評価額が10億米ドル以上の未上場企業。



インドのテクノロジーが 日本に

インドのキャッシュレス決済比率は世界トップクラスと言われており、屋台の支払いでもコード決済が可能となるなど、「インドで現金を持ち歩いている人はいない」と表現されるほどです。インドで開発されたデジタル決済技術は、**日本で国内シェア第1位のコード決済サービスに活用される**など、キャッシュレス決済基盤技術が世界の注目を集めています。

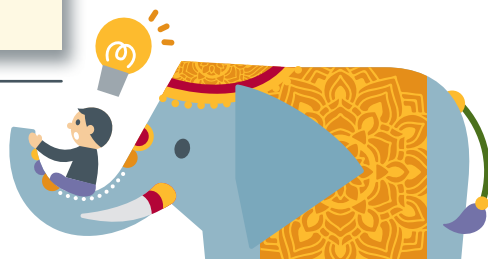


世界初、 月の南極への着陸に成功

インドは2023年、無人月探査機「チャンドラヤーン3号」の着陸に成功し、**月面着陸を達成した4番目の国**となりました。月の南極側への着陸は**世界初の快挙**です。

出所:各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インドの技術が日本でも活用されているんだ！世界から
注目されるテクノロジー、新しいインドのイメージだね。



コラム

なるほど **インド！**

日本の新幹線が
インドを走る!?

〈インドの鉄道〉



インドの電車と聞いて、「屋根にまで人が乗っている満員電車」を思い浮かべていませんか？
インドはまだ発展途上ではありますが、近年急速に都市化が進行し、インフラ整備が急速に進んでいます。首都ニューデリーやムンバイなどの大都市ではメトロの建設が進んでいて、日本の最新の信号・制御技術などが採用されています。もちろん、屋根に人は乗っていません！
現在進められている高速鉄道プロジェクトでは、日本の新幹線方式が採用され、JR東日本でインド人運転士の研修が行われるなど、日本とインドの深い関係が見られ、技術面でも日本とインドは支え合っているとと言えます。近い将来、日本の新幹線がインドを走る光景が見られるはずです！

出所:各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。左写真:新華社/アフロ。
※写真はイメージです。

なぜ経済成長が可能なの？

どうしてインドは長期的な成長が可能なの？

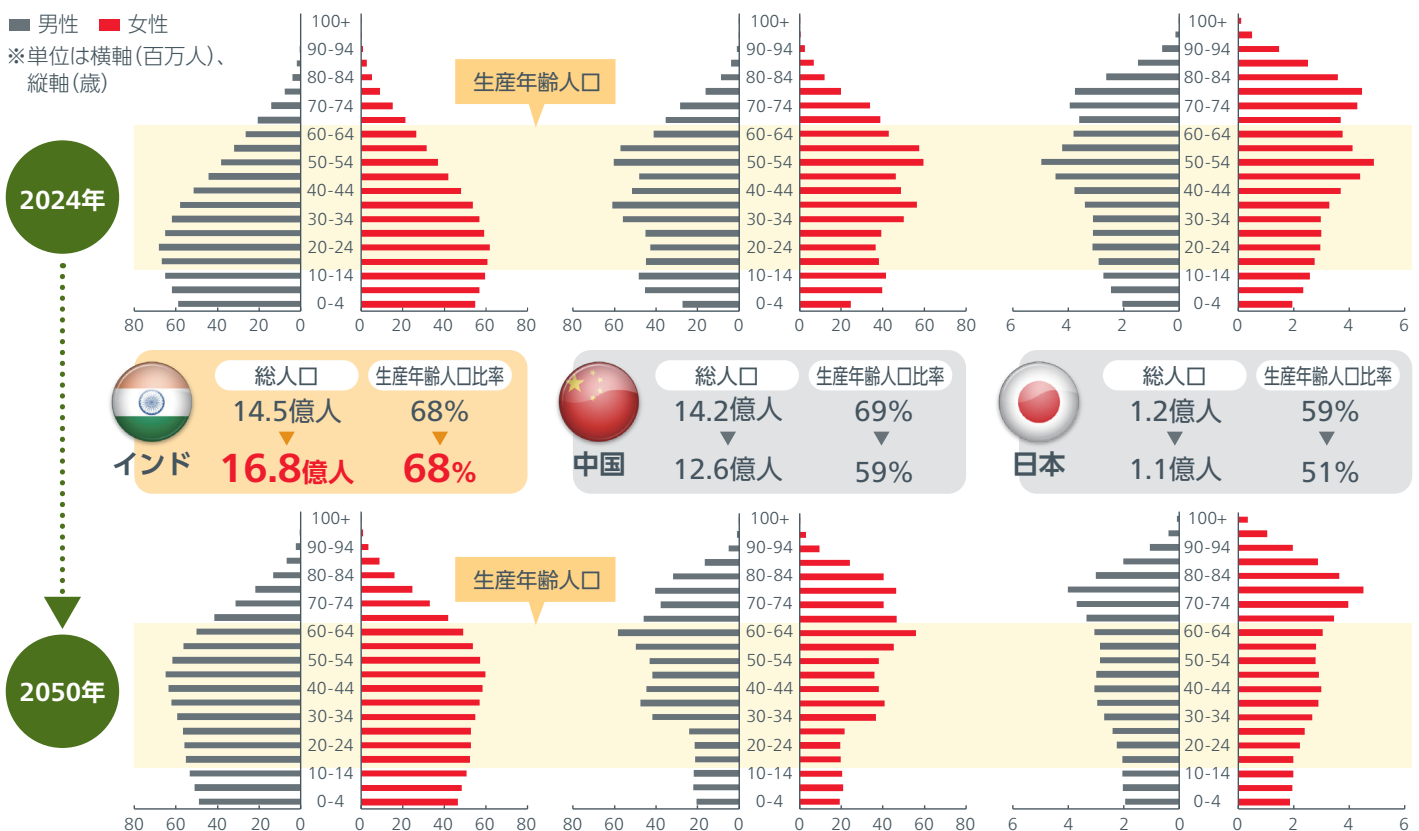
インドは人口構成や消費拡大などの面で大きなポテンシャルを持っていると考えられているからなんだ。

インドの人口構成は他の国とどう違うの？

何ととっても、**世界最大の人口**、**高い生産年齢人口比率**が特徴だよ。

- 2023年、インドの人口は中国を抜いて、世界最大となりました。日本や欧米諸国が高齢化に直面する中で、インドは**生産年齢人口**が豊富です。
- 平均年齢は約28歳(中央値、2025年予測)、労働力の供給が安定しており、経済成長にとって大きな追い風になります。

人口ピラミッド3カ国比較



出所:国際連合「World Population Prospects 2024」のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※生産年齢人口とは、15歳以上65歳未満の人口を指します。

若い人口が多い分、これからの
成長が期待できるんだね



人口が多いことで、経済成長にどんなメリットがあるの？

圧倒的な人口を背景に、インドの消費市場は世界でも有数の成長市場となっているよ。



- 都市化と所得増加により、**消費意欲が高まっている**ことに加え、消費意欲の高い若年層が多く、**消費拡大**を後押ししています。
- インドの耐久消費財の普及率は日本の高度経済成長期(東京オリンピックが開催された1964年頃)の水準のため、**経済成長に伴う需要の拡大**が期待されます。

世界の新車販売台数ランキング (2024年)

順位	国名	台数(万台)
1	中国	3,144
2	米国	1,634
3	インド	523
4	日本	442
5	ドイツ	319

出所: 国際自動車工業連合会(OICA)のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インドと日本の耐久消費財普及率の比較

耐久消費財	インド(2024年)	日本(1964年)
乗用車	約8%	約6%
電気冷蔵庫	約43%	約38%
電気洗濯機	約22%	約61%
テレビ*	約73%	約88%

出所: 内閣府、Euromonitor International(2025年9月)のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*テレビの普及率は、インドはカラーテレビ、日本は白黒テレビ。

自動車販売は**世界第3位**だけど、
普及率はまだ8%。
まだまだ販売が伸びそうだね！



コラム

なるほど **インド**！ 郵便局の数、世界一！

インドは世界最大の郵便局網で知られています。なんと、世界最高峰のヒマラヤ山脈の標高4,400メートルに位置する郵便局もあります。2025年現在、その数は16万以上(日本は約2万)。その約90%が農村部にあり、郵便・金融・年金・保険・電子決済など、欠かせない社会インフラとして機能しています。インド政府はテクノロジーを活用して郵便局を近代化し、さらに増設する計画を立てています。日本では「過疎化で地方に郵便局が無くなる」といったニュースも聞きますが、世界最大の人口大国インドならではの話ですね。



出所: 各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インドの市場って、今どうなっているの？

？

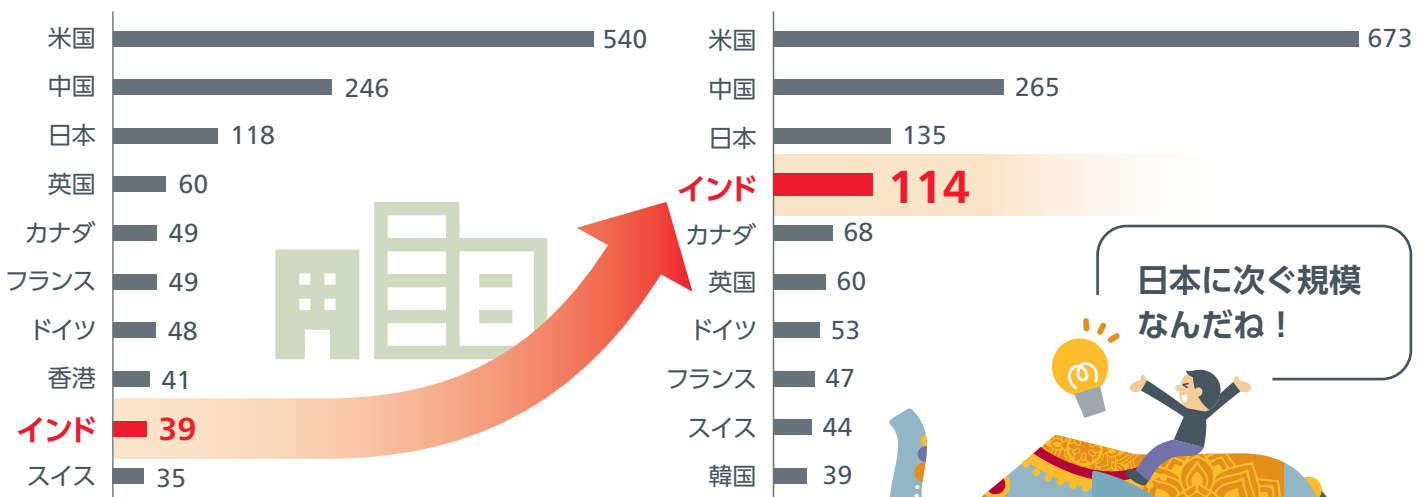
インドって、世界からも投資先として注目されているの？

インド企業の時価総額は近年急拡大していて、グローバル市場での存在感も高まっているんだ。グローバル投資家の投資対象になりやすい時価総額100億米ドル以上の企業数で見ると、**世界第4位**になっているよ！

時価総額100億米ドル以上の企業数(上位10ヵ国)

2020年8月末時点

2025年8月末時点



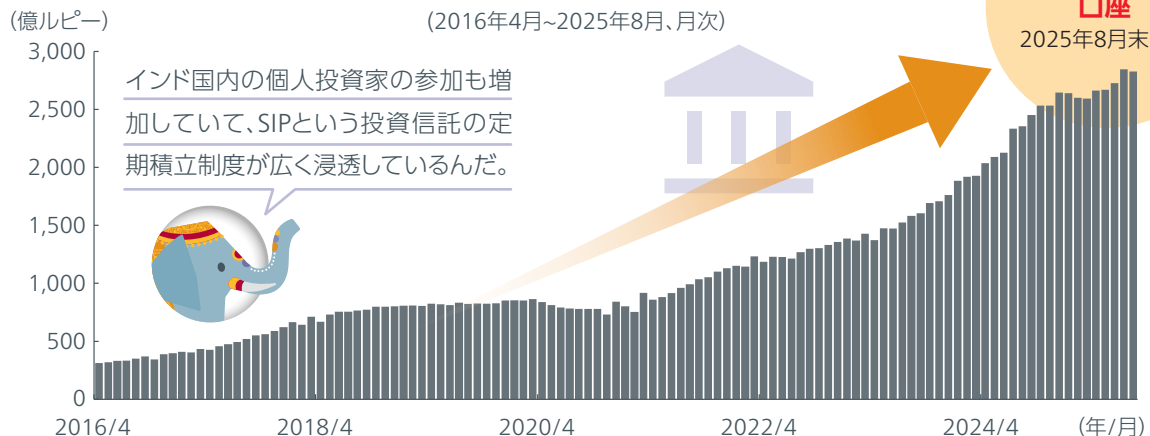
出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

日本に次ぐ規模
なんだね！

ご参考

インドでもインド株投資は増えているのかな？

国内投資家によるインド投信(積立)への流入額と口座数
(2016年4月~2025年8月、月次)



出所: AMFI(インド投資信託協会)のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。



インドに有名な企業はあるの？

各業種で時価総額が一番大きいインドと日本の企業同士を比較すると、日本企業よりも大きい企業もあるんだ。



インドと日本 各業種の時価総額1位企業を比べたら？ (2025年8月末)

業種	インド	日本
 エネルギー	リライアンス・インダストリーズ 2,083億米ドル ●インド最大の民間コングロメリット企業 ●エネルギーから小売、デジタル、メディアまで幅広い事業を展開	インペックス 216億米ドル
 銀行	HDFC銀行 1,657億米ドル ●1994年設立のインド最大の民間銀行 ●2023年に住宅金融大手「HDFCリミテッド」と合併し事業規模を大幅拡大	三菱UFJ フィナンシャル・グループ 1,856億米ドル
 ソフトウェア・サービス	タタ・コンサルタンシー・サービスズ 1,266億米ドル ●親会社はインド最大の財閥・タタグループ ●55カ国150都市以上に拠点	富士通 504億米ドル
 自動車・自動車部品	マルチ・スズキ・インディア 527億米ドル ●日本の自動車メーカー、スズキのインド子会社 ●小型車を中心に幅広い層向けの自動車を製造し、インド国内シェア第1位。	トヨタ自動車 3,089億米ドル

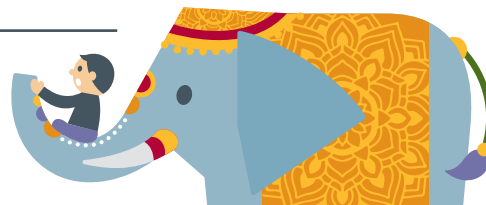
出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにありま。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※銘柄概要は、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

日本の大手企業を上回る規模の企業があるんだ！

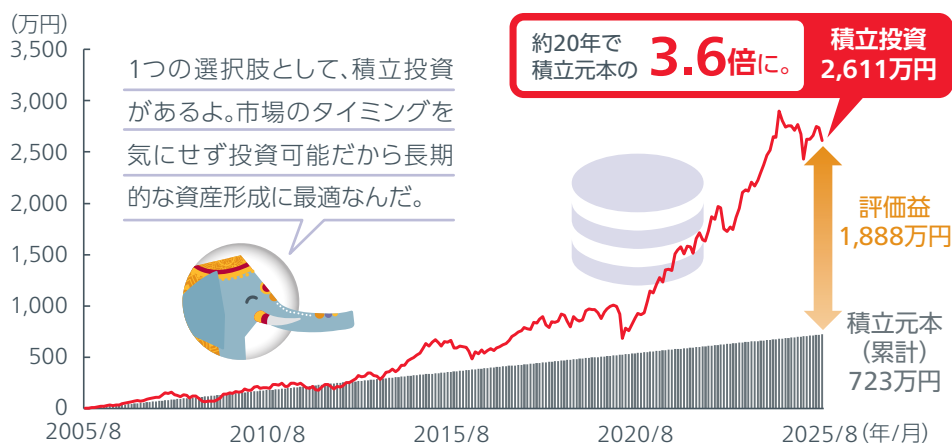


ご参考

大きい額を投資をするのは少し不安だな…

インド株式*に毎月3万円ずつ積み立てた場合のシミュレーション

(2005年8月末～2025年8月末、月次)



出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*インド株式: SENSEX指数、トータル・リターン(グロス)、円換算ベースを使用。

※毎月末に当該指数を3万円ずつ追加購入したと仮定(購入時の手数料、税金等は控除していません)。

※当シミュレーションは、一定の前提のもとで計算したシミュレーションであり、実際のパフォーマンスとは異なります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。指数に直接投資することはできません。

※投資のご判断につきましては、ご自身でなさいますようお願いいたします。

インドと言えば イーストスプリング・インベストメンツ！



投資のヒントがここに！
イーストスプリング・インベストメンツの
厳選コンテンツをチェック！

YouTube公式チャンネル

インドの市況解説やインド株
投信の運用状況振返りなど、
様々な情報を配信中！



インド投資マンスリー

インド現地の旬な
情報をお届け！

毎月
更新



公式X (旧Twitter)

インドの利下げレポート等、
見逃せない情報を日々配信！



インド投資のパイオニア イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立。175年以上の歴史を有する英国のブルーデンシャルグループの一員です。2004年に日本で初めてインド株式に特化した国内投資信託を設定、運用を開始するなど、日本におけるインド投資のパイオニアとして日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。

当社が属するグループのインドの運用会社 ICICIAM から直接得られる現地情報をもとに、投資家のみなさまにインド市場の“今”をわかりやすくお届けしています。

※ICICIAM: インド大手の民間銀行ICICI銀行とイーストスプリング・インベストメンツの属するグループとの合併会社。運用資産総額は約9兆4,424億ルピー（インドにおけるシェア約13.1%）（2025年4～6月平均）。出所: AMFI（インド投資信託協会）

※英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

＜充実したアジアのネットワーク＞

インド拠点はインド最大級の
運用会社 ICICIAM



（イーストスプリング・インベストメンツの運用拠点。2025年7月末時点。）

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式／債券について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。

※MSCI 指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。